

01 [ふじのくに近代遺産めぐり]  
木下恵介記念館  
(旧 浜松銀行協会)

03 [知事対談]  
日本人から学んだ  
マレーシアに  
今、日本人が  
学ぶべきこと  
—マレーシア元首相対談—

07 [命を守る!ふじのくにの防災]  
地震・津波対策アクション  
プログラム2013  
—津波対策編—

08 [次代を拓く]  
ヒノン農業株式会社

09 [いきいき健康長寿]  
健康マイレージ事業

10 [新銘茶のチャレンジ]  
富士山頂熟成茶

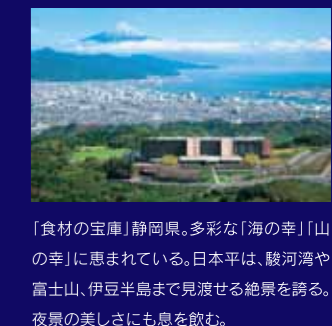
11 [県政特集]  
憧れを集める  
ふじのくに「食の都」へ

13 [ふじのくにの「大路」をあそぶ]  
西大路  
—三遠南信自動車道—

14 [静岡の食/読者の声]  
遠州夢咲牛

15 [旬のひと]  
ショートトラック・スピードスケート日本代表  
伊藤亜由子氏

◎表紙/日本平からの富士山を背景に  
静岡産食材を生かした料理



「食材の宝庫」静岡県。多彩な「海の幸」「山の幸」に恵まれている。日本平は、駿河湾や富士山、伊豆半島まで見渡せる絶景を誇る。夜景の美しさにも息を飲む。

いつまでも色あせない  
時代を超越する白亜の建造美。



ふじのくに 近代遺産めぐり

# 木下恵介記念館

旧浜松銀行協会（浜松市）



## エントランス

木下恵介の大きな肖像写真が待ち構えるエントランスロビー。左奥に伸びる階段の造形美にも目を奪われる。館内には中村興資平資料室もある。



## 第2展示室

木下恵介の足跡を記す資料が並ぶ第2展示室。映画のポスター、年表、俳優のコメントなどがある。木下映画の魅力を紹介するDVDも鑑賞できる。

## おすすめスポット



## アートホール

2階のアートホールでは毎月1回、映画上映会が行われる。クラシックコンサート等の貸ホールとしても利用できる。

平成16年、浜松銀行協会は本来の役目に終止符を打ち、浜松市に譲渡された。その後、同21年に浜松市指定有形文化財となり、現在は浜松市文化振興財団が「木下恵介記念館」として管理・運営を行っている。

木下恵介は浜松市出身の映画監督だ。「二十四の瞳」「喜びも悲しみも幾年月」「楯山節考」など日本の映画史に残る名作を多数作り出した手腕は天才と称されることも多い。その世界観と館内に漂う濃密な昭和のノスタルジィ。両者の調和から生まれる濃厚な空気感、訪れる者に深い感銘を与えるだけでなく、次代へ向けた文化伝承の在り方も示唆している。

## 映画の世界観と館内の空気感が見事に調和

設計したのは浜松市出身の中村興資平。東京駅の設計で名高い辰野金吾に師事し、静岡県庁本館、静岡市役所、豊橋市公会堂など、次代に語り継ぐべき建築物を多数手がけた名建築家だ。

建造物としてのデザインは一見シンプルだ。しかし、エントランスに施されたステンドグラス、モザイクタイル、櫛引仕上げの漆喰壁など、細部に目を転じると設計者の美意識と情熱が伝わってくる。品格を伴いながらも個性を失わず、それでいて街の美観にも貢献する佇まいは、今も浜松市民の心のオアシスとなっている。

木下恵介記念館、旧浜松銀行協会は、昭和5年に「銀行の集会所」として建てられたスペイン風の近代建築である。往時は手形の交換、会議、銀行家の交流の場として利用されていた。

## シンプルで美しいを細部に込めた情熱で描き出す

### ★木下恵介記念館

静岡県浜松市中区栄町3-1  
電話 053-457-3450  
●開館時間 9:00~17:00  
●休館日 月曜、祝日の翌日、年末年始  
●入館料 100円

### アクセス

JR浜松駅北口3番のりばから全路線で「教育文化会館西」下車

木下恵介記念館 検索

